

再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担当課：

担当課長名：

事業名	うじま 宇治真線	事業区分	街路	事業主体	沖縄県浦添市
起終点	自：沖縄県浦添市城間四丁目 至：沖縄県浦添市牧港一丁目			延長	0.52 km
事業概要	宇治真線は、城間学園通り線から牧港の県道153号線へ接続する補助幹線道路である。当道路を整備することにより港川、伊祖地域と牧港地域が連結され、歩行者の安全確保、交通の利便性が向上し、地域発展に寄与する目的で、延長515m、幅員12mを整備するものである。				
H8年度事業化	S43年度都市計画決定 (H8年度変更)	H8年度用地着手		H14年度工事着手	
全体事業費	約18.4億円	事業進捗率	83.9%	供用済延長	0.38km
計画交通量	8,500台/日				
費用便益分析結果	B/C (事業全体) 7.7	総費用 (事業)/ (事業全体) 5.5 / 19.9 億円		総便益 (事業)/ (事業全体) 153.5 / 153.5億円	
	(事業) 27.9	事業費：5.4/19億円 維持管理費：0.1/0.1億円		走行時間短縮便益：150/150億円 走行費用減少便益：3/3億円 交通事故減少便益：0.3/0.3億円	
事業の効果等	・植栽による景観、緑陰効果及び通行の快適性の向上が図られた。				
関係する地方公共団体等の意見	港川、伊祖地域と牧港地域を連結することにより交通混雑の緩和、交通の利便性が図られ、当道路の早期整備への期待は大である。				
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等	特になし				
事業の進捗状況、残事業の内容等	一部権利者が墳墓移転先の選定に不測の日数を要し、また県道取付工事の工法の協議等で事業完了までに長期間を要しているが、現在までに380mを部分供用している。				
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等	平成19年度中には用地補償及び工事を完了させ、平成20年度に全線供用予定である。				
施設の構造や工法の変更等	特になし				
対応方針	事業継続				
対応方針決定の理由	事業の必要性、重要性は大きく、用地取得も83.9%の進捗であることから、現計画を推進する。				
事業概要図	<div style="text-align: center;"> </div>				

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。